

# 2026 年度技術進歩賞候補者推薦方法について

公益社団法人 日本化学会

## 1. 賞の対象

賞の対象は、表彰規程および化学技術賞等選考委員会規則により、次のとおり定められている。

- (1) 技術進歩賞は、受賞時に本会会員であって、工業化の可能性の高い独創的な化学技術を開発し、年齢が受賞の年(2027年)の4月1日現在において満40歳に達していない者。授賞者は1名とする。ただし、グループによる共同研究または他機関の研究者・技術者との共同研究が技術開発上、必要であったと認められる場合には3名以内(全員40歳未満)の連名で受賞することができる。
- (2) 推薦資格者：本会役員、支部役員、元(前)会長、会誌編集委員長、法人正会員、化学関連学協会会長、化学工業関係工業会会長、各部会長、各ディビジョン主査、本部推薦委員会(産学交流委員会)委員長

## 2. 提出書類〔返却しない〕

- (1) 候補者推薦書、業績内容の説明、業績リスト
- (2) 参考資料：受賞対象となる業績に直接関係した論文、総説、特許、実用新案等の業績リストから選んだ10点以内

## 3. 業績説明〔下記6. 参照〕

第1次選考に通過した候補者を対象に第2次選考委員会において、候補者本人が業績説明を行う(説明15分、質疑応答10分)。なお、業績説明のための旅費、交通費は本会から支払わない。

## 4. 書類執筆上の注意

- (1) 別紙様式を使用。作成の場合はA4判、余白は左右約2.5cmのこと。フォントサイズはタイトルを除いて10~12ポイント、1ページの行数は40字×40行程度の横書きとすること。
- (2) 年号は全て西暦で統一すること。
- (3) 候補者所属機関長の推薦受諾は、各候補者の所属機関ごとに得ること。
- (4) 候補者が連名の場合は、業績分担を記入すること。連名でない場合は記入不要。
- (5) 「業績内容の説明」では、候補者の業績内容(①研究を企図した動機と経過の概要、②苦心した点、解決に至った経過の概要、③本技術の内容とその独創性、および技術上の効果、④本技術の将来への期待、展望など)を具体的かつ簡潔に4,000字程度(用紙3枚以内)にまとめる。
- (6) 「業績リスト」では、受賞対象となる業績に直接関連した論文、総説、特許、実用新案などを記載する。

## 5. 推薦書提出先および提出締切日

締切日：2026年8月31日(月)〔必着〕

提出先：公益社団法人日本化学会 総務部 賞係  
award@chemistry.or.jp

## 6. 2026年度選考委員会開催日

- (1) 書類選考(第一次選考) 2026年10月中旬
- (2) 第2次選考委員会(業績説明会・最終選考) 2026年11月10日(火)

## 7. 受賞者の発表および表彰

- (1) 受賞者の発表  
本会ホームページにて受賞者および受賞題目を発表する。  
その他、「化学と工業」3月号で関連記事を発表する。
- (2) 表彰  
翌年3月の春季年会会期中の表彰式にて表彰を行う。

## 8. 受賞後にお願いしたいこと

翌年3月の春季年会会期中に受賞講演等を依頼する。

☆本会では、候補者推薦書の内容及び委員会での審議内容に関し、秘密を保持いたします。  
なお、受賞者の方は受賞が決定するまで、公表を控えていただけますようお願いいたします。

**【追記事項】**

本賞受賞者は、同年度の長倉三郎賞受賞候補者になりますことをご承知おきください。  
そのための事務的な手続き等は、長倉三郎賞候補者に別途お知らせいたします。

以 上



指導者・共同研究者	氏名		
	勤務先と職名		
	同所在地	〒	
		電話	E-mail
推薦者	氏名		
	勤務先と職名		
	同所在地	〒	
		電話	E-mail
	推薦資格		
候補者所属機関長の推薦受諾	所属機関の名称と代表者名		
	同所在地	〒	
			電話
	所属機関の名称と代表者名		
	同所在地	〒	
			電話
候補技術の受賞歴	※受賞年(西暦), 賞名, 受賞題目の順		
候補者の受賞歴	※受賞年(西暦), 賞名, 受賞題目の順		
業績説明者氏名			
本件の連絡先	氏名		会員 No. (会員の場合)
	勤務先と職名		
	同所在地	〒	
		電話	E-mail

(注) 以下、年号は全て西暦で統一して下さい。

1. 業績内容の説明 [図、表、写真等あれば掲載すること]

(1) 研究を企図した動機と経過の概要、 (2) 苦心した点、解決に至った経過の概要、 (3) 本技術の内容とその独創性、および技術上の効果、 (4) 本技術の将来への期待、展望など。具体的かつ簡潔に4,000字程度(3枚以内)にまとめる。





2. 業績リスト [受賞対象となる業績に直接関連した論文、総説、特許、実用新案など]

